

オープンキャンパスの歩き方2015

高知大学人文社会科学部 (設置申請中)

人文科学コース／国際社会コース／社会科学コース

※オープンキャンパスでお話する内容は予定であり、変更する場合があります。



ようこそ！高知大学人文社会科学部 (設置申請中) へ

このたびは、「高知大学オープンキャンパス2015」にご参加いただき、ほんとうにありがとうございます。高校生の皆さん、保護者の皆さま方には、半日ほどの時間ですが、この機会に、できるだけ多く又有意義に大学の〈学部生活〉を《体験》してください。

今年のオープンキャンパスでは、人文学部が2016年度に組織を改編して立ち上げる「人文社会科学部 (仮称)」について説明いたします。新学部には人文社会科学科 (学生定員275名) の下に、「人文科学コース」(入試の募集人員94名)、「国際社会コース」(同83名)、「社会科学コース」(同98名)を置き、学士(文学)、学士(学術)、学士(経済学)を担保する専門科目を配置する予定です。教育課程のキーワードは、「人文社会科学プラットフォーム科目」と「15の(学びのコア)プログラム」です。

しかし、皆さんには、在学生在が日常行っている授業以外の活動にも目を向けてほしいと思っています。活動は、サークルだけでなく、学内外のボランティア、サポート活動に及んでいます。例えば、スポーツ系、文化系のサークル活動をどんな気持ちでがんばり、どのように勉強とバランスをとっているのか等々。彼等のこうした自主性の所以にも関心を寄せてください。保護者の皆さまには、この機会を利用して、朝倉キャンパス周辺の生活環境についてもご確認されてはいかがでしょうか。お子さまの高知大学での生活を親御さまの観点でイメージされることは、受験準備の一環としてたいへん意味あることではないかと思えます。

このリーフレットをご覧になりながら、数多く《体験》されることを願っています。

高知大学人文科学部長 吉尾 寛

オープンキャンパスの歩き方

上級者のみなさま

人文科学コース、国際社会コース、社会科学コースの模擬授業、ミニゼミ、コース企画に参加して、各学科での大学生活のイメージを膨らませてください！あわせて、「大学入試における面接とは？小論文とは？」でどんな入試に挑まなければならないか、そのイメージも膨らませてくださいね。

中級者のみなさま

「人文社会科学部紹介」に参加後、面白そうだな、学んでみたいと思う模擬授業、ミニゼミを選んで参加してみてください。その後、交流会(学部共通、人文科学コース、国際社会コースの3か所で同時開催)で現役学生や先生に興味を持ったことをぶつけてください。文系学部でどんなことを学べるのか、大学生活のイメージを豊かにしてくださいね。

初心者のみなさま

「人文社会科学部紹介」で大学で学ぶ内容を少しお勉強した後は、面白そうなタイトルの模擬授業に参加してみてください！！その後は、キャンパスツアーでグルッと大学を周ったあと、朝倉キャンパスやその周辺を散策し、学生生活をちょっと体験してみてください。

保護者のみなさま

すべての企画に参加していただいて構いません！なお、奨学金・授業料免除・留学に関しては、全学企画の「保護者向けガイダンス」でご案内いたします。

迷われたみなさま

居場所が分からなくなったあなたは、是非、総合案内所へお越しください。来校者を学生・教員で精いっぱいおもてなしいたします。お気軽に学生・教員にお声掛けください。ご案内いたします。

学部 部 企 画

共通教育棟2号館 同3号館

学部・コース紹介「人文社会科学部 (仮称) 紹介」

10:00~10:35 (222番教室) / 10:45~11:20 (212番教室) 2016年から人文学部は人文社会科学部 (仮称) に変わります。なぜ、いま変えようとしたのか？なにが変わるのか？どんな特徴が付け加わるのか？など新しい学部について説明します。

入試情報「大学入試における面接とは？小論文とは？」(中川香代+永野拓矢)

11:30~12:20 (212番教室) 入試委員長とアドミッションセンター長のふたりが、大学入試における面接や小論文についてお話しします。面接ってどんな雰囲気？どんな対策が必要？そして、小論文の勉強ってどうするの？そもそも、面接や小論文の試験ってなにが問われているの？などなど入試制度とともにご案内します。

キャンパスツアー (学生)

13:00~13:35 (222番教室) 学ぶための施設は図書館「メディアの森」や演習室・研究室です。大きな図書館や、仲間や教員と議論する演習室や教員研究室は高校にはないものでしょう。大学の大学たる一面をのぞきませんか？ディープなワンダーランドがひろがっています。

学生・教員との交流会「人文社会科学部 (仮称) なんでも相談室」(学生+教員)

13:45~15:00 (310番教室) 学生と教員による相談窓口を設けています。学部・コースのことを知りたい方だけではなく、留学制度はどうなってるの？インターンシップや就職活動の支援は？学生生活の生の声を聴きたい！などなど、どんな相談にも応じます。

※人文科学コース (仮称)、国際社会コース (仮称) に関心をお持ちの方は、同じ時間帯に開催するコース企画もどうぞ！！

人文科学コース（仮称）企画

交流会「教員・学生との交流会」

13：45～15：00（人文学部棟第1会議室）
人文科学コース（現・人間化学学科）の教員・在学生と、大学や学生生活に関する様々な相談ができます。学部パンフレットやコース案内冊子、オープンキャンパスのプログラム紹介や模擬講義で疑問に思ったことやもっと知りたいと思ったこともどっどん質問してください。プログラムによっては、資料の展示・説明をしたり、授業で使う教室や書庫などの見学ができる場合もあります。

模擬講義

コースプログラム紹介「教員と在学生による5プログラム紹介」
11：30～12：05（231番教室）／13：00～13：35（221番教室）
人文科学コースの、「思想・哲学」「心理学」「歴史・地理学」「日本語・日本文学」「英米文学」の5つのプログラムについて、プログラム全体の概要、講義やゼミでどんな勉強ができるのか、どんな授業があるのか、どんな先生がいるのか、ゼミの雰囲気はどうかといったコース・プログラムに関する様々なことからを、教員と在学生がプログラムごとに紹介していきます。

模擬講義

模擬講義「文明の衝突—比較文明論から見た21世紀の世界—」（角忍　哲学・思想プログラム）
13：00～13：35（231番教室）
2001年9月11日、アメリカで起こった自爆テロは、21世紀の世界がどうい方向に向かって行くのか、その予兆となる象徴的事件でした。これまで表に出てこなかった異文明間の対立が顕わになったのです。冷戦終結後の世界情勢をみると、グローバル化が進行する一方、異文明間で宗教の違いに根ざした衝突の起こる危険性が高まっています。紛争の性格が大きく変わろうとしているのです。比較思想の観点からこの状況の背景を探ります。

模擬講義

模擬講義『「みんななかよく」が息苦しいと（内心では）思っているあなたのための社会心理学』（増田匡裕　心理学プログラム）
10：45～11：20（231番教室）
学校行事にクラスで何かしなければならぬので話し合いをすると、何だか重苦しい雰囲気になるのは——、仲良しのはずの友だちグループで遊びに出掛けているはずなのに、何だか息苦しい気持ちになるのは——、やはり、妖怪のせい——ではありません。そんなのは、人間のせいです。「妖怪ウォッチ」がなくても、社会心理学の知識があれば「正体が見える」です。他の人がいるだけで、一人ではしないことをしてしまうのが、普通の人間なのです。

模擬講義

模擬講義「歴史上の異常気象と飢饉」（杉谷隆　歴史・地理学プログラム）
11：30～12：05（221番教室）
高校までの地理や歴史、地学では習わないことですが、過去の地球規模あるいは局地的な気候変化はかなり明らかになってきており、人間生活の基盤である農業生産に影響を与えたことが知られています。気候変化は、いま懸念されている人為的な原因が主であると想定されている地球温暖化だけではなく、過去にも自然に発生していたのです。講義では、いくつかの例についてビデオ資料を用いながらお話しします。

模擬講義

模擬講義「丸暗記でない古典文法」（福島尚　日本語・日本文学プログラム）
10：45～11：20（221番教室）
古典文法というと、暗記物だと考えられています。「古文」を読むためには、助動詞・助詞などについての知識は必要ですが、本来、文法は言葉の仕組みを説明するためのものであって、その考察の結果をやみくもに覚えていればよいというわけではありません。今回は、「完了」の助動詞を取り上げて、暗記の対象だと考えられている事項を、言葉の仕組みという観点から見た場合にどのように説明できるか考えてみます。

模擬講義

模擬講義「はじめての映像学——『見知らぬ乗客』と『そして父になる』の映像学的考察」（宗洋　英米文学プログラム）
10：00～10：35（221番教室）
カフェで友人たちと語り合うのとは全く違う映像学の視点から映画を考える。映像メディア論の第一回講義の内容を35分に圧縮。ハリウッド映画文法の基礎を知ることにより、映画作品の鑑賞の仕方が変わるはず。

国際社会コース（仮称）企画

共通教育棟3号館

模擬講義

交流会・学生報告「国際社会コースプログラム紹介」「学生による国際体験報告」
13：45～15：00（311番教室）
本コースでは、多元化・複雑化するグローバル社会を見据え、国内外の様々な「壁」を乗り越えて活躍できる「グローバル市民」の育成を旨としています。そのために、少人数制のゼミナールに加え、6つのプログラムによる学びが特徴となります。具体的に各プログラムの内容を紹介します。プログラム制の紹介に続き、協定校への留学や国際社会実習（フィールド・リサーチ、外国語実習）などの活動を経験した学生によるプレゼンがあります。

模擬講義

模擬講義「翻訳について考えてみよう」（土屋京子　グローバル社会プログラム／ヨーロッパ地域プログラム）
10：45～11：20／11：30～12：05（ともに322番教室）
みなさんは「翻訳とは何か」と考えてみたことがありますか？翻訳とは、ある言語（あるいは符号）から他言語へというふうに、言葉の置き換えであると、まずは言えるかもしれません。しかし、一見すると機械的にも思えるこの作業には、人間存在の根幹に関わる言語と文化が複雑にからみあっています。グローバル化とローカル化が同時に急速に進行している21世紀の世界で、翻訳が担っている役割について一緒に考えてみましょう。

模擬講義

模擬講義「南北アメリカ地域」（中西三紀　南北アメリカ地域プログラム／グローバル社会プログラム）
11：30～12：05／13：00～13：35（ともに321番教室）
世界の大国・米国から、たとえばハイチのような世界の最貧国まで混在する南北アメリカ地域の研究を通して、現代世界が抱える問題の遠因・要因、本質が明らかになることに、南北アメリカ地域を学ぶことの一つの意義があります。この授業では、1898年の米西戦争と、同じく19世紀末に、国際分業思想のもとで形成されていくラテンアメリカ各国の一次産品輸出に依存したモノカルチャー経済構造の、世界的な意義について考察したいと思います。

社会科学コース（仮称）企画

共通教育棟3号館

社会科学コース（仮称）企画

模擬講義

コースプログラム紹介「複眼的思考で社会を考えよう」（赤間聡＋新井泰弘＋中川香代＋西島文香）
13：45～15：00（335番教室）
社会科学コースでは法律学や経済学、経営学、政治学、社会福祉学等の様々な領域の学問を学習し、それぞれの視点を活かして社会が抱える諸問題を発見・解決することができる人材の育成を目標としています。ここでは、本コースの様々な学問領域の先生方と一つの社会問題を各々の視点から議論することで、各学問領域の特色と視点を明らかにしていきます。

模擬講義

模擬講義「赤字も悪くない？ 企業経営と会計の関わり」（山内高太郎　経営・会計プログラム）
10：00～10：35（335番教室）
大手家電メーカー赤字決算が紙面でとりあげられ、社会的な問題となっています。この模擬講義では、赤字決算となる仕組みについて簡単に説明した後、経営状態が悪くなるのはなぜか、赤字決算であっても倒産しないのはなぜか、赤字決算は関係者にどのような影響を与えるのかについてみなさんと一緒に考えていきます。

模擬講義

模擬講義「あなたももうすぐ有権者：政治学から投票を考える」（遠藤晶久、法律・政治プログラム）
10：45～11：20（335番教室）
来年の参院選から選挙権年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられます。ということは、大学生だけではなく、高校3年生でも一部の人は選挙に行くことができます。「政治」「選挙」というと堅苦しくて自分とは関係ないものと身構えてしまうかもしれません。しかし、選挙というのは「普通の人々」のためにあるものです。この講義では、人々が選挙とどうかかっているのかについて考えてみます。

模擬講義

模擬講義「経済学への招待」（雨宮祐樹　経済理論プログラム）
11：30～12：05（335番教室）
高校までは経済学の授業はありませんから、経済学と聞いてもイメージが湧きにくいのではないのでしょうか。経済学とは、人間の行動に関する学問です。その目的は、人間の行動やその相互作用を明らかにすることで、地域や社会、学校、会社等、様々な人間関係のルール作り役に役立てることです。本講義では、簡単な例を題材に、人間関係のルール作りについて考えてみましょう。また経済学とはどんなものかについて、理解を深めましょう。

模擬講義

模擬講義「カツオでみる地域と世界」（堀美菜　経済政策プログラム）
13：00～13：35（335番教室）
高知の魚と言えばカツオ！スーパーに並ぶカツオ、どこから来ているか知っていますか？日本だけでなく世界中で獲られるカツオ、将来にわたって持続的に資源を利用するにはどうすればよいのでしょうか。地域での取り組みから国際的な取り決めまで、カツオを巡る世界を紹介します。

ミニゼミ

ミニゼミ「模擬法廷で裁判員になってみよう」（稲田朗子　法律・政治プログラム）
10：45～12：00（334番教室）
高校生の皆さん、裁判に興味はありませんか。日本でも、2009年に市民が参加する裁判として、裁判員制度が始まりました。皆さんも将来、刑事裁判に参加することになるかも知れません。この教室では、社会経済学科刑法ゼミナールに所属するゼミ生が、被告人や法曹三者に扮して、裁判員裁判の模擬裁判を行います。起訴状に記載された罪名は「殺人」。皆さんも裁判員として、一緒にこの模擬裁判で審理にも参加してみませんか。

ミニゼミ

ミニゼミ「商店街活性化イベントを企画しよう！」（田中康一　経済政策プログラム）
13：00～14：30（334番教室）
このゼミでは、商店街活性化のためのイベントを企画します。アイデアを出し合い、予算や時間などの限られた資源を上手に活用し、人が大勢集まり楽しめて、しかも商店街の魅力を発信できるイベントを企画しましょう！

模擬講義

模擬講義 'Identity Perception in a Culture of English'（Howard Doyle　言語・コミュニケーションプログラム／ヨーロッパ地域プログラム）
10：00～10：35／13：00～13：35（ともに322番教室）
Each person has two kinds of identity: self-identity and identity seen by other people. This lesson gives students a chance to see how similar or how different their perceptions their self-identity and impressions of other people are, regarding their English.

ミニゼミ

ミニゼミ『「タテ社会」ってどういう意味だろう？辞書の定義を疑ってみよう』（小澤万記　総合文化プログラム／アジア・オセアニア地域プログラム）
10：45～11：45（310番教室）
本学部の授業の「核」になっているゼミナールについて、ちょっとだけ経験してみましょう。

世の中には沢山のベストセラーがありますが、これらの本が実際に多くの人に理解されているかということ、かならずしもそうではありません。この授業ではそのようなベストセラーの一つである、中根千枝『タテ社会の人間関係』を読みながら、「タテ社会」という言葉の意味について考えます。

ミニゼミ

ミニゼミ「高知から世界が見える」（奥村訓代　総合文化プログラム／アジア・オセアニア地域プログラム）
10：45～11：45（311番教室）
奥村は、日本語教員養成を行っている。その関係でゼミでは、日本人と交換留学生が共同で異文化理解と多文化共生をテーマに取り組んでいる。その様なかで、高知に関しては田舎という感想以外には、留学生は勿論、日本人も高知の良さを知らない人が多い。そこで、ゼミでは特に高知を取り上げることにより、高知と留学生の母国、諸外国と高知の関係を見る。その結果、きっとあなたにも高知から世界が見えるようになると確信している。